

千葉県国土利用計画地方審議会第4回調査検討部会 議事概要

- 1 日時 平成17年11月10日(木) 午後2時00分から
- 2 場所 千葉県庁中庁舎3階第1会議室
- 3 出席者(委員)
高橋部会長、大野委員、親泊委員、佐藤委員、嶋田委員、長谷川委員、山田委員、山本委員
- 4 議事
 - 1) 開会
 - 2) 議事
 - (1) 県土利用の問題点(農地・市街地等)の発生要因について
 - (2) 県土利用の問題解決に向けた課題について
事務局から一括して、事務局としての分析案を資料に基づき説明し、その後意見交換
 - (3) 千葉県の良いところ・美しい景観づくりの課題について
事務局から景観の美しいとされる場所の写真等をサンプルとして提示し、その後意見交換(具体的な検討は次回以降の部会で行うこととなった)
 - 3) その他
国土審議会計画部会の構成(専門委員会の設置)及び今後の検討スケジュール等につき、資料に基づいて説明
 - 4) 閉会
- 5 主な発言内容(順不同)
 - (1) 県土利用の問題点(農地・市街地等)の発生要因及び問題解決に向けた課題について

農家人口の減少傾向を見てみると、10年後にどうなってしまうのか。このままではいなくなってしまうのではないかと。

農家は減っているが、農事組合法人など違った経営形態の農業者は増えているのではないかと。農業分野として全てが減少しているということではないと思う。

市街地を郊外に拡大させないという方針は、県の方針か。市民農園などに郊外を使うことはよいこと。資料1で耕作放棄農地の問題解決に向けた課題としていくつかあるが、例えば、食育など、消費者と生産者が一体となったような取組が重要である。そうすることによって、消費者を含め、農地に対する考え方が変わってくるかもしれない。

○(旧)沼南町の道の駅で地元の食材を買ったことがあり、そのことをブログに書いたら反響があった。直接、足が運んでもらうこともよい。

耕作放棄対策については、県内でも南部と北西部とでは対策が大きく違ってくるのではないか。南部では、有害鳥獣による被害が耕作放棄の要因として大きく影響しており、農家の意欲をなくさせるものとなっている。資料1で耕作放棄農地の「問題の発生要因」では掲載されているが、「問題解決に向けた課題」に入っていない。是非、有害鳥獣被害対策を追加してほしい。

○国土利用計画では、目標値が設定されているが、各部局の施策ごとの目標値なり事業評価はできているのか。例えば、現状の施策でどの程度の効果があるのか、予算額を増やせば効果はさらにあがるのか、現状の施策で目標達成が困難であれば、施策のメニューそのものを検討する必要があるのか。などの検討が必要ではないか。どの施策がどれだけ効いているのか、あるいは効いていないのか、具体的に判断することができない。何をやれば目標が達成されるのかがわからない。コストパフォーマンスがない。

○総合計画がなく、人口予測がないままに、土地利用の将来の姿を描き出すのは、困難。

○現在、まちづくり三法の見直しをしている。国土の乱開発が進んでいる。土地利用の厳しいドイツでは切花は郊外の店では売れないほど。(車でないと買えないような鉢植えは郊外店舗で、切花は歩いて買い物ができる中心市街地の店舗など)

○県の経済三団体では、都心から40kmの地域では、まだ、市街化区域が必要という期待を込めて提言を行っている。

○そもそも、商業を地域調整するという考えはない。

○耕作放棄地など農地の問題だけではなく、興業関係の未利用地(臨海部の大規模未利用地)をどうするのかも大問題である。

○オールドタウン、ニュータウンというのが外国にはある。都市の形骸化したものをどうするか、考えなくてはならない。オールドタウンには田舎も谷津田もあっていいのに、ニュータウンの真似をして個性がなくなっている。発想の転換で別の土地利用を考えるなど、千葉県らしさを出してほしい。「欲望の世紀」から「抑制の世紀」へということを提言したい。千葉は歴史があるのに掘り起こしができていない。「今はダメでも、こうすれば、こう良くなる」というような、ポテンシャルの掘り出しを考えたい。

○福岡、静岡などの街は元気がある。地元の商店街の結束が強いのではないかと。千葉の中心街の人たちには結束があるのか。千葉のまちの風景は古いものでもいいのではないかと。新しいものは幕張にある。そうしたことができないわけではない。

○元気のあるところは商店街がにぎわっている。

○佐原は駅前がシャッター通り。伝建地区などの観光地区の点と線を面にしたい。最近では、利根川左岸に立地しはじめた大型商業施設へ客が流れてしまっている。

○佐原は駅から観光地への分断の問題がある。文化庁も最近では伝建地区指定の際にはポテンシャルのある地区まで広げている。千葉県も拾い上げた方がよい。

(2) 千葉県の良いところ・美しい景観づくりの課題について

屏風ヶ浦は「東洋のドーバー」と言われているが、風力発電施設が景観を阻害している。景観の中にある構造物を取り除くことが重要。取り除くことによって、B級の景観がA級になる。

○九十九里などの海岸沿いを見ても景観はめちゃくちゃ。サービスもよくない。ハワイなどの海外の観光地と比べて見劣りがある。土地所有者、一人ひとりのいいものに対する認識が変わらないといけない。モデルケースとなるような市町村ができることが望ましい。

○上から押し付けるのではダメ。要は地域づくりの問題である。魂を入れるのは地域の人たち。自分達がまちづくりを行うという意識が重要。

○「ガーデンシティ」から「ガーデナーズシティ」ということを考えたことがある。自分達がまちを作っていくということ。

○部会の中で市町村から意見を聞く機会を設けてほしい。